

# ほのか診察室

HONOKA Consultation room

シリーズ 第116話

## お薬手帳

### 「5つのいい事!!」



市民病院 薬局 主任薬剤師 本多 哲治 監修



お薬手帳があれば飲んでいる薬を正確に伝えることができます。

(東日本大震災の時もお薬手帳が有効活用されました)  
お薬手帳は大事な個人情報ですので、管理をしっかりとしましょう。

① 一冊にまとめましょう

飲んでいるすべての薬を「一冊で」記録することが大切です。病院ごとや薬局ごとに別々のお薬手帳を作らないようにしましょう。

② 言いたいことや伝えたいことをメモしておきましょう

体調の変化や気になったこと、医師・薬剤師に相談したいことをあらかじめ書いておきましょう。

アレルギー歴も大事ですので、お薬手帳に記載しておきましょう。

③ 一般用薬品(OTC医薬品、大衆薬)、健康食品も記載しておきましょう

思いがけない良くない組み合わせ

皆さんは医療機関を受診する際に「お薬手帳」を持参していますか?

お薬手帳とは、いつ、どこで、どんな薬を処方されたかなどを記録する手帳です。

特に、複数の医療機関や、新しい医療機関を受診する時などは「お薬手帳」を見せるだけで、あなたの薬の情報を正しく伝えることができます。

今回はお薬手帳の有効的な使い方「5つのいい事」をお話します。

④ 医療機関にかかる時は必ず持って行きましょう

薬の重複や、良くない飲み合わせを未然に防止できます。  
薬の使用の記録があることで、より安全に薬を使用することができます。

薬の内容が変わらないうちも手帳に記載(シール貼付)しておきましょう。

⑤ いつも携帯し、いつも同じ場所に保管しましょう

旅行先で病気になる時、災害時に避難した時、救急の時などに



ただいま市民病院では、薬剤師募集中です。やりがいのある職場で一緒に働きませんか? 問い合わせは市民病院総務企画課(回 23・7852)へお願いします。

せ・食合わせが見つかることがあります。

このように「お薬手帳」は、皆さんの健康を守る手帳です。病院や診療所の薬は一人ひとりの病気に合わせて処方されています。薬をより安全に、より効果的に使っていただくために「お薬手帳」を有効活用し、健康管理に役立てましょう。